

ムツボシツヤコツブゲンゴロウ

Canthydrus politus

兵庫県：B

環境省：絶滅危惧Ⅱ類(VU)

種の概要

体長2.4～2.6mm。体型は逆卵形。背面は強い光沢がある。頭部、前胸背は黄色～オレンジ色で点刻を欠く。上翅には不規則で浅い2～3条の不明瞭な点刻列をもつ。上翅も黄色～オレンジ色だが、個体変異や地域変異が著しく、ほとんど無紋の個体から、肩部から下方に1紋、その内方の会合部には達せず中央前まで広がる1紋、中央後の会合部にも側縁部にも達しない横長の1紋の黄色～オレンジ色部と、翅端のやや淡色になる部分を残して暗褐色になる個体まで連続的に変化する。池沼の浅瀬の植物の多い水域に一年中見られるが、特に夏期に個体数が多い。



写真提供：森正人

国内分布

本州、四国、九州

県内分布記録

神戸市、加古川市、高砂市、小野市、加西市

選定理由

人為性		特殊生息環境	学術性		
個体数激減	生息環境激変		分布が極限	分布の限界	希少
			○		○

特記事項

CランクからBランクに変更。
その後の調査では新たな記録や情報がない。本種は比較的大きな池などの止水域に生息し、生息水域での個体数は一般的に多い。県内では播州地域の一部で生息が知られているが、生息水域が少なく絶滅が危惧される。

保護上の留意点

池沼など止水域の保全